エコチル調査コアセンターの オリジナルキャラクターが誕生しました!



カワウソをモチーフとした、エコチル調査コアセン ターのオリジナルキャラクターが誕生しました。頭の 上にちょこんと載せた葉っぱ、胸元のふんわりとした ハートがチャームポイントです。

キャラクターイメージは、好奇心旺盛で元気いっぱ いの子どもと、子どもの健やかな成長を見守る大人。子 どもの健康と環境を考えるエコチル調査のコンセプト を表しています。

参加者および協力者の方々にエコチル調査を常に身 近に感じてもらうとともに、一般の方々にも興味・関心 を持ってもらえるようなオリジナルキャラクターとし て、これからさまざまなシーンで登場する予定です。ど うぞお楽しみに!





このコーナーでは、エコチル調査コアセンターの研究者を紹介していきます。 第一回は、国立環境研究所環境リスク・健康研究センター曝露動態研究室 室長 兼エコチル調査コアセンター研究開発室長の中山祥嗣さんです。

── エコチル調査コアセンターでは、中山さんはどんな仕事をし ていますか。

エコチル調査では、環境が子どもの健康に与える影響を調 べていますが、そのうち子どもたちがどんな環境の中で大き くなっているかを調べています(これをばく露評価といいま す)。皆さんからお預かりした生体試料の保管や分析、環境測 定や大気汚染のモデル推計、質問票調査の中のばく露評価に 関するチームの責任者です。加えて、国際連携も担当してい

── なぜ研究者になったのですか。

宇宙物理学者になるのが子どもの頃の夢でしたが、とても 体が弱く、いつも病院のお世話になっていました。そこで小 児科医を目指して医学部を卒業しました。そのときに、病院 に来る一人一人の命を守る医師も必要だけれど、病院に来な い大勢の健康を守る医師も必要だと思い、医師であると同時 に研究者になることにしました。臨床研修をしながら大学院 に通い、公衆衛生(みんな(公衆)の健康を守る(衛生))を学 び、博士号を取りました。そのあと、アメリカの環境保護庁 (US EPA) に招かれ6年間働き、2011年にエコチル調査コ

アセンターに赴任しました。

― エコチル調査に対する思いをお聞かせください。

ケネディ大統領は「子どもたちは、世界で最も貴重な資源 であり、未来への一番の希望である」といいました。その子 どもたちが育つ環境を守るのは、私たちの責任です。エコチ ル調査は化学物質の子どもへの影響に焦点を当てた、世界で も珍しい大型研究です。日本の子どもたちだけでなく、世界 中の子どもたちの未来に貢献できます。参加していただいて いる皆さま、それを支えてくださっている家族の皆さま、地 域の皆さま、政府・政治家、研究者、みんなの期待に応えられ



るよう、新しい科 学を取り入れなが ら、調査を成功さ せたいと思います。

米環境保護庁(EPA) 時代、汚染物質の調査

令参加者のみなさまへのお願い

住所が変わった時は、担当のユニットセンターに

新しい住所をお知らせください

転居先が調査対象地域外であっても、質問調査票へのご協力な ど、可能な範囲でご協力のほどお願いいたします。変更があっ た際は、質問票調査に同封している「登録内容変更届」に新住所 をご記入の上、質問票とともにご返信ください。または、担当 のユニットセンターにお電話ください。

質問票調査にご協力ください

みなさまにお答えいただく質問票は、今後の調査、研究にとっ て非常に貴重なデータとなります。ちょっと答えにくかった り、時間がかかってしまう時もあるかと思いますが、質問票へ の回答、返却にご協力いただきますようお願いいたします。

お問合せ アコチル調査コールセンター

〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2 国立研究開発法人国立環境研究所

0120-53-5252

9:00~22:00 (フリーダイヤル・年中無休)

子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査)コアセンター

2018年8月発行



第7回 エコチル調査シンポジウム開催

テーマは「みんなで支える妊娠・出産」

産婦人科医の荻田和秀先生が特別講演に、 パネルディスカッションには蛯原英里さんも登壇

2018年2月10日(土)、日本科学未来館にて、第 7回エコチル調査シンポジウムが開催されました。 今回のシンポジウムの目玉は、ドラマ化された人 気漫画『コウノドリ』の主人公のモデルとしても知 られる産婦人科医・荻田和秀先生による特別講演。 また、山梨大学教授の山縣然太朗先生がコーディ ネーターを務めたパネルディスカッションでは、 荻田先生のほか、蛯原英里さん、助産師の半澤ハル 子先生、川本俊弘コアセンター長がパネリストと して登壇し、「妊娠・出産をみんなで支えよう!| をテーマに話し合いました。

次ページ以降でシンポジウムの様子をご紹介します。





▶今年も大勢の方にご来り いただきました

パネルディスカッション

夫婦と子ども※

※子どもとは、調査参加児 当時は胎児)の兄・姉を指す N=98,123

妊娠・出産をみんなで支えよう!



パネリスト: 写真左から 川本俊弘先生(エコチル調査コアセンター長) 半澤ハル子先生(助産師、エコチル調査福島ユニットセンター) 蛯原英里さん 荻田和秀先生(産婦人科医)

コーディネーター:写真右端 山縣然太朗先生(エコチル調査甲信ユニットセンター長)

妊娠中の環境

山縣 最初は、妊娠中の環境について。 特に問題になっているのが、妊娠中の 喫煙です。 妊娠中のタバコの影響はさ まざまありますが、荻田先生はどのよ うに指導をされていますか?

荻田 基本的に、「お母さんがタバコを 吸うことは赤ちゃんにとって百害あっ て一利なし」と話しています。 妊娠中の 喫煙では、常位胎盤早期剥離^{※1}など赤 ちゃんの命に直接関わるリスクもあり ます。大阪人なので、「タバコ高いやろ? その分お金貯めて産着を買うてあげた ら?」と話しますね。

※1 常位胎盤早期剥離:妊娠中または分娩中に胎盤が 子宮壁から剥がれること。胎盤が剥がれる際に出 血し、重症では母体と胎児の生命にも影響があり ます。

妊娠時の家族構成

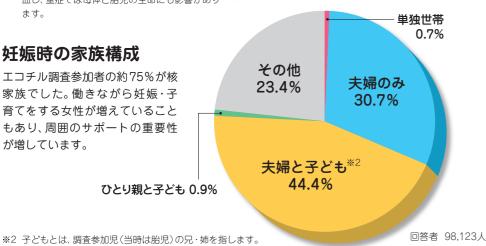
エコチル調査参加者の約75%が核 家族でした。働きながら妊娠・子 育てをする女性が増えていること もあり、周囲のサポートの重要性 が増しています。

ひとり親と子ども 0.9%

山縣 蛯原さんは一児のお母さんです が、妊娠をきっかけに生活の中で何か を控えたことはありますか?

蛯原 私は、コーヒーや緑茶などカフェ インが入っているものを控えていまし た。また、大きいお魚を食べると良くな いと聞いたので、その点は意識して控 えていました。

荻田 原則、普通に売られている食材 を購入することで問題ありません。む しろ偏食や過剰摂取のほうが問題です。 "おばあちゃん情報" やネットの情報は かなりフェイクが混じっていますので、 メディアや"おばあちゃん情報"に対す るリテラシー(適切に理解して記述・表 現する能力)があった方がいいのかな と思います。



半澤 妊娠初期ではつわりがとてもひ どい人もいますし、つわりが全然ない人 もいます。なので、妊娠初期は食べられ るものをしっかり食べること、そして脱 水しやすいので水分をしっかり摂るこ と、中期以降は鉄分の多いものを摂るよ うに話します。日本人はカルシウムの 摂取量が少ないので、カルシウムも大切 です。妊娠中から必要な栄養素をしっ かりとることは、お子さんが生まれてか らの食育にも良い影響となります。

子育て支援のあり方

山縣 次は、妊娠中・産後のサポートに ついてです(妊娠時の家族構成につい て円グラフに示しました)。 働きながら 妊娠、出産する方が増えていますが、荻 田先生のお話でも働きながらの妊娠・ 出産は重労働以上に蓄積する疲労があ るとのことでした。

荻田 だから仕事をしない方がいいと いう意味ではありません。仕事をして いない人でもストレスにさらされるリ スクは十分ありますし、そのリスクを どう解消するかは周りのサポートにか かっていると痛感しています。

山縣 蛯原さんは悩みがあるときには どなたに相談したのでしょうか。

妊娠・出産ホンマの話「奇蹟のすぐそばにいること」



りんくう総合医療センター 産婦人科 荻田和秀先生

荻田先生による特別講演では、未受診妊婦など の社会問題や早産など妊娠期のトラブルについ て、データに基づいてお話しされました。全体を 通して、ご自身が主人公のモデルを務めるドラマ 『コウノドリ』のエピソードなどを絡めたお話に、 会場からは時折大きな笑い声が起きることも。 もちろん、産婦人科医として妊婦さんや赤ちゃん と向き合う荻田先生の姿勢に、参加者の皆さんは 胸を熱くしたことと思います。

そして、講演の最後には、会場に向けてこんな メッセージを送られました。

「ドラマでは『出産は奇蹟だ』というセリフが出 てきます。このことについてはたくさんのご

意見がありましたが、私は奇蹟だと呼んでいいと 思います。奇蹟とは、もたらされるものではなく、 再生産(Re-Production)できるもの。そのため には、お父さん、お母さん、家族だけでなく、社会 がどのように見守っていけるかがこれからの問

題になるはず です。私たち 産科医もそこ に寄り添い、 子育てのハブ になる存在で ありたいと思 います」

分娩は育児の第一歩

出産という奇跡の後には 現実が続いていく。 赤ちゃんと一緒に現実を生きるのは僕達ではな

▲スライドの中で紹介された漫画『コウノト リ』の主人公・鴻鳥サクラのセリフ

蛯原 私もそうでしたが、妊娠中は不

蛯原 基本的には、一番身近にいる夫 に話し、不安に思っていることは何で も話し合ってきました。あとは、「妊娠 中にやりたいことリスト」を書いておい て、夫と一緒に取り組んだりすること で少しずつ不安を解消していきました。 山縣 おじいちゃんやおばあちゃんに サポートしてもらうこともありますが、 世代間ギャップなどで悩むこともある

蛯原 抱き方や母乳育児について、母 と意見が合わないことはありましたね。 子どもが泣いていれば私はすぐに抱っ こしたいのに、母から「抱き癖がつくし、 肺の運動になるから泣かせたほうがい い」と言われたり。そのときは今の育児 のことや私の気持ちなどを話して理解

かもしれません。

してもらいました。

半澤 子育て中のお母さんの中には、 お姑さんや実のお母さんとの意見の食 い違いがあり、泣きながら電話をして くる人もいます。そういうケースでは、 おばあちゃんに対して直接お話しする と、「今はそんなに違うの」と理解して くれます。

山縣 最後に、全体を通してのコメン トをお願いします。

半澤 妊娠、出産、子育てでは、妊婦さ んはもちろん、妊婦さんを支えるパー トナーの存在がすごく大きいと感じて います。両親が仲良く子育てできるよ う環境を整えていく必要がありますし、 そのためには地域や医療機関との連携 がとても重要になると思います。

安ばかりで、ネットを調べても本当に 正しいのかどうかわかりません。でも、 エコチル調査のような正確な情報を知 ることで、正しい知識を持って、妊娠、 出産、子育てにあたれます。私自身も一 人の娘の母として、こういう情報があ ることを伝えていきたいと思いました。 荻田 産婦人科はお母さんの味方でも ありますが、僕は赤ちゃんの味方だと 思って仕事をしています。お子さんが 健やかに育っていくということが我々 のゴールです。エコチル調査はそのた めの情報の宝庫でもあるので、皆さん もじっくりと考えていただければと思 います。

山縣 本日はありがとうございました。





▲ホールの外の展示スペースでは、環境について楽しみながら学べるケミカルパズル(写真左)や、ケミカルすごろく(写真右)が展示され、子どもたちが遊んでいました